

政策分野Ⅲ 経済、産業

【産業振興、雇用就労】

昼夜間人口比率が高いということは「仕事や学校はあるが、住む場所は利便性の高い隣接市を選ぶ」という構造が生まれている。

【観光】

菜の花畑は強力な集客力を持つ一方、渋滞や農地への侵入といったオーバーツーリズムの課題がある。

【商業】

- ・商業の満足度が上がった要因として「道の駅」の存在が挙げられ、道の駅で名産品を知ることによって実際に購入する流れが生まれているという実感がある。
- ・新たなドラッグストアの進出や新規創業支援制度の充実も、満足度が向上した要因と考えられる。
- ・SNSなどで情報発信する移住者などの増加により、町内の新しいカフェや飲食店への来店が促され、「新しいことに挑戦できる空気感」が町の新たな活力となっている。

政策分野Ⅳ 健康、福祉

【医療】

- ・総合病院や産科、小児科の欠如は、高齢層のみならず現役世代の強い不安要素である。
- ・他方で、都会への集約化が進む中、都市地域に隣接する恵まれた立地を活かした戦略的な仕掛けが求められる。

政策分野Ⅴ 生活環境、生活基盤

【環境、景観保全】

- ・メガソーラーやソーラーパネルに対しては、環境破壊の文脈で捉える方もいるため配慮が必要。
- ・シマエナガは、町内でも目撃例があるなど、自然豊かな環境の象徴として人気がある。

【生活インフラ】

- ・水道事業は、町民の命にかかわる重要なインフラであり、町が高品質で提供できている。引き続き町民の手で守り抜くべき重要な資産である。
- ・「郊外のインターネット環境の遅れ」はすでに克服され、現在ではテレワークも可能なインフラへと進化した。

【移住、定住対策】

- ・お試し暮らし住宅利用者の意見にあった「ほどよい田舎」が、安平町の目指すべき姿ではないか。
- ・実際に住んでみると、生活の負担が軽い点が大きな強みである。
- ・直近4年連続で社会増。人口推計シミュレーションよりも減少幅が抑えられている。
- ・空き家があるということは、むしろ移住者などを受け入れるキャパシティと捉えられる。
- ・隣接する千歳市へのラピダス進出は、追分地区などを中心とした通勤圏内としての人口流入が期待できる。

今後の予定 次回も「町民まちづくり会議」についてご報告する予定です。

【第3次総合計画のページができました】

現在策定中の第3次総合計画に関する情報を町公式ホームページにまとめました。随時更新していきますのでご覧ください。「町民まちづくり会議」の詳細についても掲載しています。



【総合計画に関するご意見】

随時、受け付けています。インターネットからも受け付けていますので、ぜひご活用ください。右記二次元バーコードからもアクセスできます。

インターネット受付先：<https://www.harp.lg.jp/kyFPjdtc>

郵送先：〒059-1595 安平町早来大町95番地 安平町役場政策推進課 宛

FAX送付先：FAX 2026



総合計画に関する問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎ 2751